



大人も子どもも『つながる』まちを目指して

部活動の地域移行は決して学校だけの問題ではありません。大人も子どもも一緒になって地域を盛り上げていくチャンスになるかもしれません。どんな街にしたいのか、そのために何ができそうか。公民館や社協、スポーツクラブ、またはサークル活動を楽しむ市民等、それぞれの立場から地域づくりの視点をもって、部活動の地域移行をきっかけとしたまちづくりについて学びました。

なんのためにやっているのか。誰のためのものなのか。根本的な問いの解決は何なのか。千曲坂城クラブの事例を聞きながら、参加者が関わる地域のできる形を考えるきっかけとなりました。

(受講者 36名)



〈研修内容〉

○講義 演題 「千曲坂城クラブをきっかけとした絆づくり
～個人と社会のWell-beingの実現～」

講 師 千曲市教育委員会 指導主事
千曲坂城クラブ事務局長 兼 総括コーディネーター 山根 義夫 氏

○質疑応答 講演内容及び部活動の地域移行に関する質疑応答



受講者アンケートから

- 素晴らしい活動、熱のこもった講演でとても感動しました。(県・国職員)
- 公民館が部活動の地域移行にどう関わっていけばよいのかについて、見通しを持てた。(公民館職員・公民館関係者)
- 部活動に終始せず、まちづくり・絆づくりの大切さとテーマがマッチしていた。(県・国職員)
- 教師だけでは対応できない時代に入ってきたので、一般の方々も真剣に考えなくてはならない問題であると思う。学校外でも現状の説明会を開く必要があるのでは。(一般)
- 個人と社会のWell-beingの考えをもとに、絆づくりに取り組まれた千曲坂城クラブの立ち上げ実践。大変素晴らしい講演をお聞きできてよかったです。根底におかれている絆づくり、心に留めていきたいと思います。自分にできることをほんのひとしずくでもやっていきたい、先生のお話を聞いて思いました。(学校教職員)
- 地域に関わる各組織が描く地域像が似てきている中(ウェルビーイングを高めるとか)、似通った取り組みも多い。横のつながりを強化する必要性を感じる。(社会福祉協議会)